

立てた志に向け、全員で

昨年度本塾は、チームスロウガン「邁進」を掲げ、3部復帰を目指して日々練習に励み精進した。秋のリーグ戦では、グループリングで通過して入れ替え戦にコマを進め、見事4年ぶりの3部復帰を果たした。

今年度は、血の滲む努力で掴んだ3部の舞台で戦い続けることができるように、スローガン「立志」の下、新体制にて一人一人が持っている知識を出し合いつつ身体作りからの見直し・チーム全体の走力底上げのために、毎日努力を惜しまず練習を積み重ねている。

本塾が目指す「走るバスケット」を体現し、チーム一丸となって戦う勇姿をとくご覧あれ!

チームの大黒柱

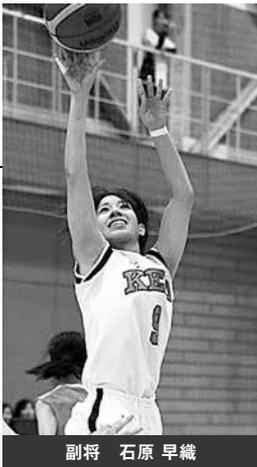
それではここから、今年度チームを牽引する4年生を紹介しよう。

本塾の頼れる主将兼エース(No.4) 中村実里。素早いモーションから放たれる安定したスリーポイントは、幾多の場面でチームを救う。エースとしてチームを引っ張る彼女のしなやかで洗練されたプレーに目を見張るだろう。更に磨きをかけて、パワーアップしたドライブも見応え抜群だ!

副将である(No.5)石原早織。チームの雰囲気盛り上げるムードメーカーだ。センターとしては小さい身体だが、その体格差をずば抜けた身体能力で補い、どんな相手にも立ち向かう姿は必見である。速攻の先頭を走り抜く走力は、早い展開の中でチームを引っ張る。



主将 中村 実里



副将 石原 早織

本塾のアジアンビューティー(No.6) 清水麻子。持ち前の手足の長さを生かし、インサイドプレーで活躍しつつも、外角から虎視眈々とシュートを狙うオールラウンダーである。ここ一本、得点が欲しいというところで勝負強さを見せ、得点してくれる彼女の活躍に期待。

そのおっとりとした穏やかな性格でチームの雰囲気と和ませる(No.7) 保坂淑恵。彼女の恵まれた身長を生かしたセンタープレー、リバウンドは高さが無いチームにとって重要な得点源となっている。彼女の性格と打って変わった力強いプレーに注目だ!

今季より学生コーチとなった瀧本有加。女子高コーチも兼任していた彼女は、豊富な知識とセンス光る頭脳を持ち主である。自身が選手であった経験から、チームメイトに親身で的確な指示を送り、チームにとって必要不可欠な存在となっている。

個性溢れる戦力

次に、チームを支える3年生を紹介しよう。

本塾の姉御的存在(No.8) 和田美波。相手のディフェンスの際を突く動き、高い精度を誇るシュートでチームの得点を支える。昨シーズン怪我で悔しい思いをし、ようやく大好きなバスケットを思い切りやれるという熱い思いが慶早戦で爆発する!

持ち前の俊足でコート駆け回る(No.9) 亀田葉月。そのかわいらしい顔からは想像もできないガッツがあるプレーで、

チームを奮い立たせる。膝の怪我と闘いながらも、いち早く復帰するためにバスケットに真摯に向き合い、日々努力している(No.10) 美しい肉体を持つ(No.10) 村井睦。彼女の圧倒的なポディバランスとスピードによるドライブ、驚異的な脚力によるディフェンスで攻守両面において活躍する。持ち前の広い視野による華麗なアシストパスからも目が離せない! ここからは、下級生ながらもチームの重要な戦力である2年生を紹介する。

チームの愛されキャラ(No.11) 磯部紗希。ここぞという時のスリーポイントのシュートや速攻の走り出しと軽快なフットワークで、攻守において自身の持ち味を見せる。彼女のひたむきなプレーは、チームを鼓舞すること間違いなし!

個性的天然ガール(No.12) 豊村沙恵。時に予想の斜め上を行く発言をする彼女だが、コートの上立つと得意のストップインを使ってゴール下で力強いプレーを見せる。また、献身のなりバウンドはチームから絶対的信頼を置かれている。

チーム随一のフィジカルの持ち主(No.13) 高瀬華琳。地道な身体作りによる強靱な肉体を武器に、パワフルなセンタープレーで相手を圧倒する。ゴール下で彼女がボールを持てば、どんなディフェンスでも止められないだろう。

本塾の司令塔(No.14) 森川唯加。卓越したボールハンドリングで、相手のプレッシャーディフェンスにも怯まずボールを運ぶ。広い視野で味方へのパスを狙いながら、自身も巧みなフェイクを駆使して得点を取りに行く。

生粹のお嬢様(No.15) 阿部真璃奈。見た目からは想像もつかない芸人顔負けのパフォーマンスで、

ンスでチームに爆笑をもたらす。高校時代は陸上部であった彼女は、持ち前の運動神経で驚異的な早さで成長しており、見どころ満載である。

難波の元氣娘(No.16) 井ノ本雅子。持ち前の明るさでチームを盛り上げる。彼女の綺麗なシュートフォームから繰り出されるボールは、面白いくらいにゴールに吸い込まれていく。また、絶妙なカットインでディフェンスをかき乱し、得点につなげる。

頭脳派プレイヤー(No.17) 和田かおる。味方のドライブに対し、絶妙なタイミング・位置で合わせ、得意のジャンプシュートで得点を伸ばす。リバウンドセンスもある彼女の、必死にボールを追う姿は、まさに勇猛果敢である。

彼女達を支えるのは今年度副務を務める松浦紗季。プレイヤー顔負けの力強いハスキーボイスでチームを活気づける。黙々と努力を重ねテビングやマッサージ等の知識を養い、今やチームに欠かせない存在となっている。

そして、チームに新たな勢いをもたらしているのが、今年度から新たに仲間となった1年生だ。これまでにない旋風を巻き起す期待の即戦力であり、初の慶早戦に対する緊張感さえも力に変えて伸び伸び戦う。若さ溢れる彼女たちが、チームの秘密兵器として活躍する姿からは目が離せない!

今年度のチームは、様々な個性を持つ部員が集まり、一味違ったチームとなっている。一人一人がどのチームにも負けない、バスケットに対する強い情熱を持っている。格上の相手に対しても怯むことなく立ち向かう姿は、観客を魅了すること間違いがない!

この慶早戦は、これまで積み重ねてきた本塾ならではの堅実なバスケットが、強豪早稲田相手にどこまで通用するのか? この慶早戦は新体制となり、昨年度とは一味違った本塾の挑戦の場である。チャレンジャーとしてコートに立つ選手たちの勇姿を、どうか見届けて欲しい。